

# リハビリ通信 (第56号)

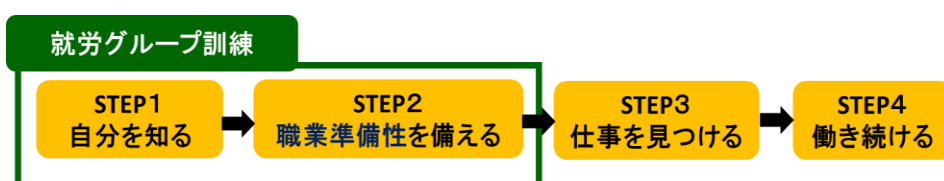
編集・発行：長野県立総合リハビリテーションセンター「支援部」  
 所在地：〒381-8577 長野県長野市大字下駒沢618-1  
 TEL・FAX：026-296-3954  
 E-mail：[reha-shien@pref.nagano.lg.jp](mailto:reha-shien@pref.nagano.lg.jp)  
 ホームページ：<http://www.pref.nagano.lg.jp/rehabili/shogai/>

## 就労グループ訓練の取り組み

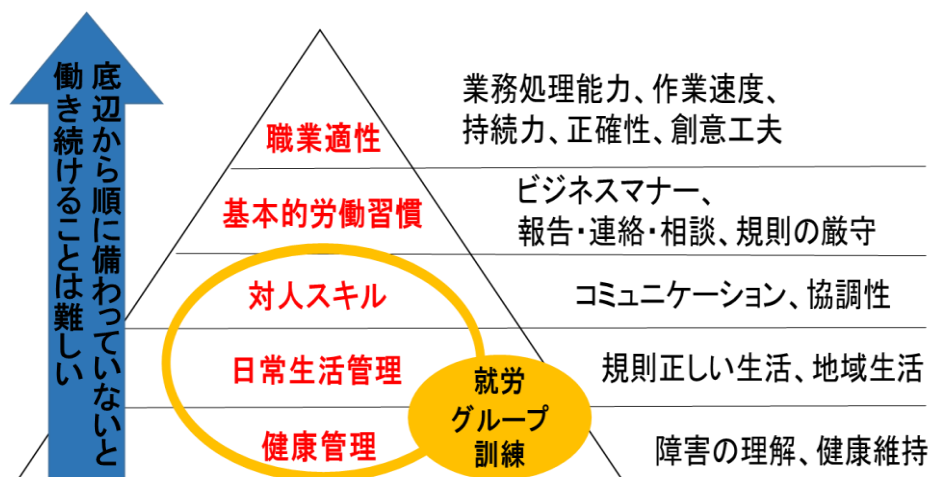
### 訓練課「作業療法」

訓練課の作業療法では、利用者の方の自立や社会復帰に向けて就労支援を行っており、その一環としてH28年9月から、就労グループ訓練を行っています。

就労支援には以下のような4つのSTEP（ステップ）があり、就労グループ訓練ではSTEP1・2に当たる「職業準備性」について学ぶ機会としています。



<図1 就労支援の流れ>



<図2 職業準備性ピラミッド>

「職業準備性」とは、個人の側に職業生活をはじめめるために必要な条件が用意されている状態のことを言います。左の図の職業準備性ピラミッドは人が就業する上で必要とされる5項目です。就労グループ訓練の目的は「職業準備性」を備えることの必要性を知り、自分の現状を振り返ることです。メンバーは、就労を目指していて具体的に就労や日中活動を考える時期となった方を対象としています。

学習内容は「①働く意味について考える」「②就労に向けた流れを理解する」「③自分について知る」「④職業準備性について勉強する」「⑤仕事の見つけ方を知る」「⑥働き続けるための支援を知る」となっています。これらの内容に関して、意見交換を行いながら学習し、自身の現状と課題を考えています。参加者からは『就労に関するテーマに沿って自分の意見を話し、人の意見を聞き、さらに考える機会になった。』『一人で考えるよりも、考えるヒントが見つかる。』といった感想が聞かれています。就労を目指すという、同じ目標を持つ方同士の交流により、互いに励まし合い、教え合う場となっています。

# ふるさと社の訓練紹介

## 訓練課「ふるさと社」

訓練課では、高次脳機能障害（記憶、注意、遂行機能及び社会的行動障害）をお持ちの方を対象とした模擬会社「ふるさと社」において、就労に向けた訓練を行なっています。模擬会社ではありますが、そこには「ふるさと社」の社員という立場で、組織の一員として責任ある行動も求められます。

訓練に臨む姿勢として、「障害と向き合い、自分自身について知る」ということが重要です。訓練には幾つかの対応方法がありますが、午前は個々の状況に即した個別対応を行い、午後は集団活動が中心となります。集団活動に入る職員は、曜日毎に異なり、それぞれの専門性（心理・言語聴覚・生活支援・作業療法・職業訓練）を活かす形で、各訓練メニューを準備しています。また、リサイクル活動（ペットボトルのキャップ回収・洗浄・納品、英字新聞でのエコバッグ作製・納品、インクカートリッジ回収・納品）や園芸活動もメニューとして取り入れています。集団としての機能を活かしながら、社会との接点も意識しつつ、ゴールとしての就労へつなげていきたいと思えます。

### <「ふるさと社」午後の集団活動>



「ふるさと社」の出入口



ペットボトルキャップの運び出し



英字新聞エコバックは5種類



薬局にエコバックを納品